

<p>質問 項目</p>	<p>期日前投票所の混雑解消について（17-3）</p>
<p>一 般 質 問</p>	<p>[質問者 公明党 村上 直樹 議員]</p> <p>最後に、期日前投票所の混雑解消についてお伺いします。</p> <p>投票日当日、仕事や旅行などで投票に行けない人のために、平成15年に導入された期日前投票も今では普通となり、利用者もかなり増えてきております。更に、選挙結果を占ううえでも大きな存在となっております。</p> <p>現在、低下傾向にある投票率を少しでも高める為には、貴重な一票が無駄にならないよう、誰もが気持ちよく投票ができる環境を整えることが大事だと思います。</p> <p>本年1月にコロナ禍で行われた北九州市議会議員一般選挙は、投票日当日の投票所の混雑を緩和するため、ホームページやテレビCMなどにより期日前投票を行うよう積極的に周知しましたが、一部の期日前投票所では、一時的に大変混雑した状況もあったようで、私のもとにも市民の方から「超密になっています」との連絡がありました。もしかすると、市民の中には投票所まで来たものの、混雑した状況を見て投票せずに帰られた方もいるかもしれません。今後も同じような状況が起こるのではないかと危惧するところ です。</p> <p>ある自治体では、職員がスマートフォンで投票所の状況を配信して、混雑状況を可視化する実証実験を行ったそうです。配信内容は「大変混雑」「やや混雑」「混雑なし」の3項目で、これを見た市民が自主的に投票時間や投票日をずらした結果、投票所の混雑が回避できたとのこと です。</p> <p>更には、これと並行して、投票所混雑状況可視化のため、あるメーカーが提供するAI・画像センシング技術の活用により、待機列の人数をリアルタイムに計測し、混雑状況の可視化に向けた実証実験を行ったそうです。そこで、本市でも市民の利便性の向上、3密回避を図るため、まずは投票者の多い期日前投票所の混雑状況を可視化できないか、見解をお伺いします。</p>

[答弁者 行政委員会事務局長 古賀 厚志]

期日前投票所の混雑解消につきまして、市民の利便性の向上、3密回避を図るため、まずは投票者の多い期日前投票所の混雑状況を可視化できないか、というご質問にご答弁を差し上げます。

緊急事態宣言下で行われたました本年1月の北九州市議会議員一般選挙におきましては、投票所の消毒や換気など様々な感染防止対策の徹底を図りました。

また当日投票所の混雑緩和のため、期日前投票を推奨するとともに、9箇所すべての出張所におきまして投票時間を2時間延長いたしまして19時まで実施し、また、商業施設を2施設から3施設に増設し、開設日を3日間から4日間に増加するなど、期日前投票所が、より利用しやすくなるよう拡充を行いました。

さらに、密を防ぐための新たな試みといたしまして、市のホームページ上に、過去の選挙において混雑した時間帯や曜日をあらかじめご紹介いたしました。

加えまして、各期日前投票所の1日の中での分散化を図るため、1時間毎の投票者数をグラフ化いたしまして、適宜、ホームページ上で更新するなど、混雑状況の可視化にも努めたところでございます。

これらの取組みもございまして、期日前投票の利用率は、投票者数全体の約39%と、約10ポイント増加につながったというふうに考えております。

その一方で、議員ご指摘のとおり、一部の期日前投票所におきましては、時間帯により混雑いたしまして、投票者の方々にお待ちいただくというような状況も発生いたしました。

このような投票所におきましては、区役所職員や警備員を増員いたしまして、整理誘導や待機スペースの確保など、その都度、適宜対応するように努めたところでございます。

期日前投票が定着していく中、混雑状況の解消にあたりましては、投票所のレイアウトや導線、職員配置の見直し、或いは、混雑状況のわかりやすく、きめ細かな情報提供の工夫などが、今後の課題であると認識しております。

まずは、次の選挙から、これらの課題にしっかりと取り組んでまいります。特に、混雑状況の情報提供につきましては、市政だよりやSNS等の広報媒体を広く活用するなど様々な工夫をしていきたいと考えております。

将来にわたりまして、益々、市民の皆様が期日前投票所に足を運ぶ機会が多くなることが予想されます。議員ご指摘のAIなどデジタル技術を用いた可視化につきましても、今後、広く混雑緩和対策を含む投票環境の充実を図る中で、鋭意検討してまいりますと考えております。答弁は以上でございます。

答
弁